「森ビジョン」解説編

～「森ビジョン」策定の背景と森林情報～

検　索

第１章：辰野町の魅力と現状

町の魅力は？ → p2～p7

町の人口は？ → p8～p9

町の経済は・・・林業もあるの？ → p10～p12

町の土地利用計画は？ → p13～p14

第２章：辰野町の森林・林業と現状

町の森林は？ → p16～p29

誰が森林を持っているの？ → p23～p24

災害に注する所はあるの？ → p25～p29

森林の特徴は？ → P29

森林に希少植物とか文化財はあるの？ → p33～p35

松くい虫・・・危険なの？ → p36～p39

地球温暖化対策？ → p40～p42

どのくらいCO_2を吸収するの？ → p43～p44

山崩れ・・山地災害 → p45～p48

林業活動ってあるの？ → p49～p52

森林経営管理制度って何？ → p53～p54

マツタケ → p55～p56

森林で楽しめるの？ → p57～p58

獣害は発生しているの？ → p59～P60

第３章：森林・林業を取り巻く課題の整理と打開方向

課題を整理すると？ → p62～p64

課題の重要度と緊急度は？ → p65～p68

SWOT分析て…戦略➡方向性？ → p69～p71

課題の打開方向は？ → p72～P79

第４章：森ビジョン理念・目標

森林の多面的機能って？ → p82～P83

コベネフィット相乗便益？ → p84

理念と将来像？ → P85

基本方針？ → P86

ゾーニングって？ → p87～P92

第５章：実施方針

50年先の計画だけ？短期目標はあるの？ → p94

「共同アプローチ」？ → p95～p96

「短期重点項目」？ → P97

「災害に強い森林づくり」って必要だよね？ → p98～p99

「松くい虫対策」は近々の課題では？ → p99～p101

里山を守らないと！ → p102

地球温暖化対策を進めないと！ → p103～p104

山（もり）を楽しむ！環境教育は？ → p104～p105

林業は産業だよね？ → p106～p108

みんなでモデル地区を作りましょう☺ → p109

短期だけでなく、長期で取り組む課題は？ → p110～p116

森林所有者のみなさん…森林に興味を持って！ → p110

山（森林）の境界が不明 → p110～p111

集落有林・生産森林組合？ → p112～p115

適正な森林管理？ → p114～p116

マツタケ山 → p115～p116

木材利用 → P116

第６章：森ビジョンの推進

「森ビジョン」を推進する担い手が重要！ → p118～p119

森林所有者さん・・・跡取りいます？ → p118

林業をする人・・担い手は？ → p118

地域の担い手はとっても重要！ → p118～p119

「共同アプローチ」を進める人は？ → p119

行政（町）だって担い手必要だよね？ → p119

ビジョンはどうやって進めていくの？ → p120～p121

PDCAって？ → p120

アジャイルって？ → p121

誰がPDCAを行うの？ → p121

用語集①～⑳

森林や林業の用語は専門的です。
難しい用語は用語集を見てね

解説編　目　次

検　　索　　②　～　③

第１章：辰野町の魅力と現状　・・・・・・・１
　1−1．辰野町の魅力 ～自然豊かな町～　・・・・・・・・・・・２
　1−2．辰野町の人口　・・・・・・・・・・・８
　1−3．辰野町の経済　・・・・・・・・・・１０
　1−4．辰野町の土地利用計画　・・・・・・・・・・１３

第２章：辰野町の森林・林業と現状　・・・・・・・１５
　2−1．辰野町の森林　・・・・・・・・・・１６
　2−2．路網（基盤）　・・・・・・・・・・３０
　2−3．水源地と森林　・・・・・・・・・・３２
　2−4．生物多様性・・辰野町の希少植物　・・・・・・・・・・３３
　2−5．文化財　・・・・・・・・・・３５
　2−6．松くい虫　・・・・・・・・・・３６
　2−7．森林の地球温暖化への貢献（CO_2吸収）　・・・・・・・・・・４０
　2−8．山地災害の発生　・・・・・・・・・・４５
　2−9．林業・木材産業　・・・・・・・・・・４９
　2−１０．森林経営活動　・・・・・・・・・・５１
　2−１１．マツタケ　・・・・・・・・・・５５
　2−１２．森林利用　・・・・・・・・・・５７
　2−１３．獣害　・・・・・・・・・・５９
　　覚えておきたい人工林と天然林　・・・・・・・・・・１７
　　アカマツとカラマツ　・・・・・・・・・・２３
　　希少植物を見つけたら・・・　・・・・・・・・・・３４
　　ゼロカーボンアクション30　・・・・・・・・・・４２
　　林業と木材産業　・・・・・・・・・・５０
　　森林経営計画　・・・・・・・・・・５１
　　森林経営管理法と森林環境税（譲与税）　・・・・・・・・・・５４
　　絶滅のおそれのあるマツタケ　・・・・・・・・・・５６
　　森林サービス産業　・・・・・・・・・・５８
　　県内の獣害状況　・・・・・・・・・・６０

第３章：森林・林業を取り巻く課題の整理と打開方向　・・・・６１
　3−1．課題の整理　・・・・・・・・・・６２
　3−2．課題の重要度・緊急度・優先度　・・・・・・・・・・６５
　3−3．課題と戦略評価　・・・・・・・・・・６９
　3−4．打開方法　・・・・・・・・・・７２
　　森林所有者の皆さん・・境界を確認してください　・・・・・・・・・・８０

第４章：森ビジョン理念・目標　・・・・・・・８１
4−1．森林（もり）の役割（機能）と相乗効果を理解して✋　・・・・・・・・・・８２
4−2．森ビジョンの“理念”と将来像　・・・・・・・・・・８５
4−3．森林の将来像を実現するための基本方針　・・・・・・・・・・８６
4−4．森ビジョン推進のためのゾーニング　・・・・・・・・・・８７
参考となるゾーニング　・・・・・・・・・・８７

第５章：実施方針　・・・・・・・９３
5−1．「森ビジョン」の短期目標と共同アプローチ　・・・・・・・・・・９４
5−2．「森ビジョン」短期重点項目　・・・・・・・・・・９７
短期重点項目　①　防災・減災の森林整備（災害に強い森林づくり）　・・・・・・・・・・９８
短期重点項目　②　松くい虫対策　・・・・・・・・・・９９
短期重点項目　③　里山整備（獣害対策）　・・・・・・・・・１０２
短期重点項目　④　2050ゼロカーボンに向けた整備（森林CO_2吸収量の増強）　・・・・・１０３
短期重点項目　⑤　森林レクリエーション・環境教育の推進　・・・・・・・・・１０４
短期重点項目　⑥　森林経営と木材利用　・・・・・・・・・１０６
「共同アプローチ」によるモデル森林の検討　・・・・・・・・・１０９
5−3．長期に取り組むべき事項　・・・・・・・・・１１０
共同アプローチの自助・共助・公助　・・・・・・・・・・９６
ハザードマップ　・・・・・・・・・・９９
ガイドブック　・・・・・・・・・・１０５
薪ストーブ　・・・・・・・・・・１０７
地域内で木材循環・・・薪ステーションの事例　・・・・・・・・・・１０８
林地台帳制度　・・・・・・・・・・１１２
樹高と木の太さ ＆ 適正な密度　・・・・・・・・・・１１５

第６章：森ビジョンの推進　・・・・・・・１１７
6-1.「森ビジョン」推進の担い手　・・・・・・・・・１１８
6-2.「 森ビジョン」のPDCA ＆ Agile　・・・・・・・・・１２０

用　語　集

五　十　音　・・・①～⑲
アルファベット　・・・⑲～⑳

未来につなぐ辰野町の森ビジョン策定委員会

策定委員会の活動
策定委員名簿

解説編について

聞きなれない言葉や多用されている英略語等の用語は（※n-n）を用いて各章の末尾に記載しています。さらに、町民の皆さんに理解していただきたい事項など、“コラム”として取りまとめています。

解説編の図面は、国土地理院の許可を得た基盤図(国土地理院長承認（複製）R5JHf165)を使用しています。

森の恵み

解説
第１章：辰野町の魅力と現状

伊那谷の最北端　大城山から望む伊那谷

日本のど真ん中！
伊那谷が始まる地点！
魅力満載😊

1-1. 辰野町の魅力 ～自然豊かな町～

町の様々な魅力は……
多くの緑（森林）と、森林が根付く風土から生み出されています！
ホタルが棲めるきれいな水も森林が豊かだから☺

（1）辰野町

辰野町は、伊那盆地の最北端に位置し、北緯 36 度、東経 138 度の線が交わり、日本列島のほぼ中心に当たります。天竜川が中央を南流し、北・西は塩尻市、北東は岡谷市、東は諏訪市、南は箕輪町・南箕輪村に接しています。

西部に国道 153 号（名古屋～塩尻）が、東部に主要地方道伊那・辰野（停）線が並行して走り、高速自動車国道中央自動車道（西宮線）が通過して、南部に伊北 IC があります。JR 飯田線は、辰野駅から南下して走り、途中、宮木駅・伊那新町駅・羽場駅があり、JR 中央線は、町の北部を東から北に走り、この間に辰野駅・信濃川島駅・小野駅があります（2023 年町勢要覧より）。

南部を除き三方を山に囲まれ、市街地は辰野駅から南西部に、集落は各山麓に広がっています。耕地は、北の小野川、西の横川川および天竜川の沿岸に水田があり、丘陵地帯は果樹園のほか、畑に利用されています。

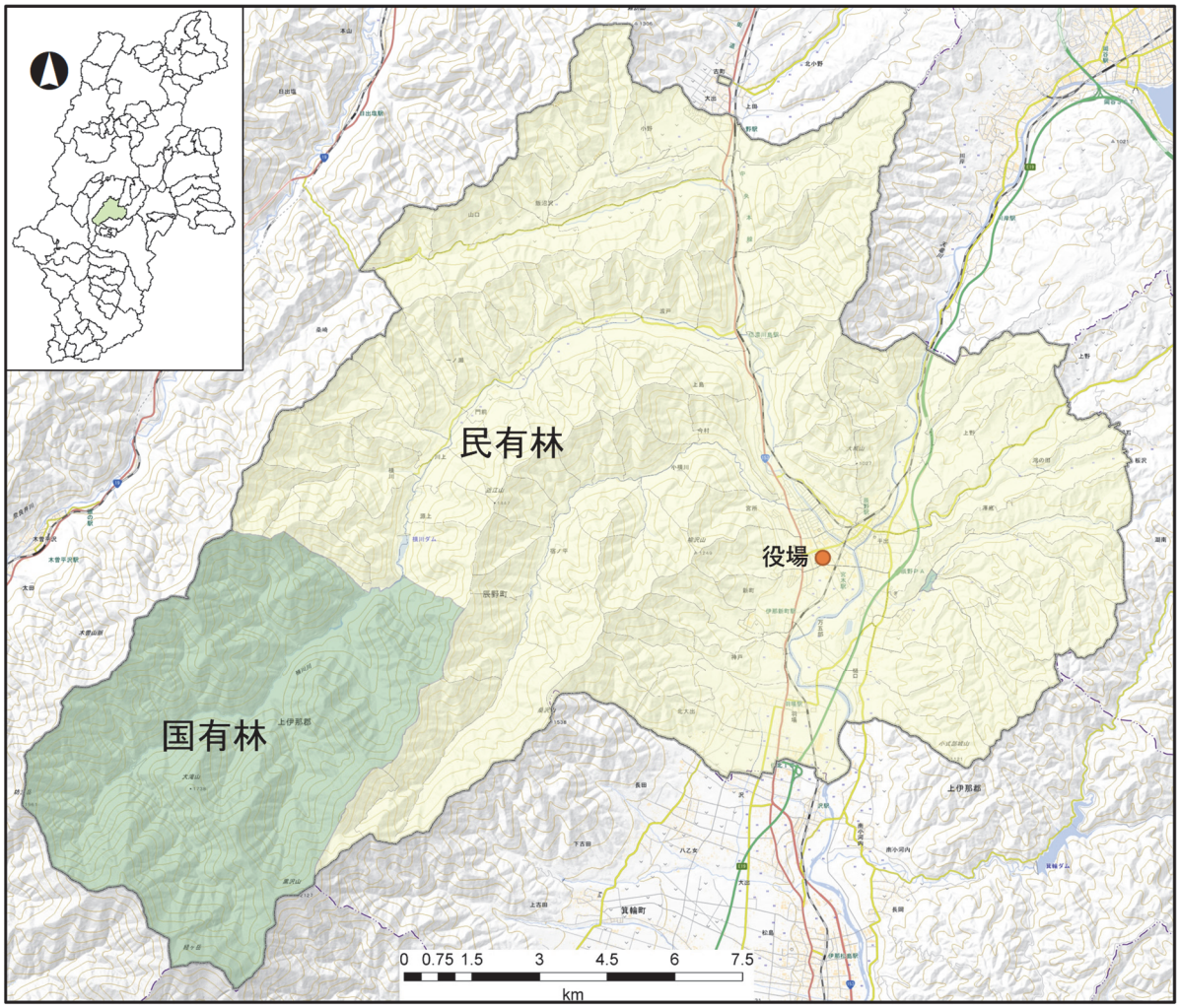


図 1-1　辰野町全域図　　※「国土地理院長承認（複製）R5JHf165」

町の特別シンボルは「ゲンジホタル」、町の木は「しだれ栗」、町の花は「福寿草」です（写真 1-1）。

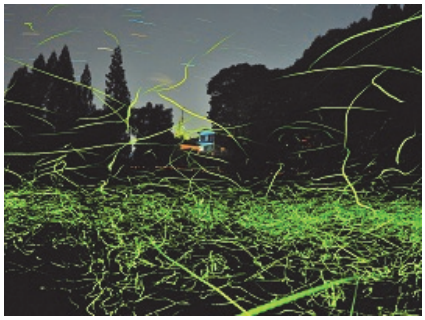


写真 1-1　松尾狭のゲンジホタル　　しだれ栗森林公園のしだれ栗　　沢底のふくじゅ草

辰野町観光協会：https://www.town.tatsuno.lg.jp/kanko/index.html

町章は漢字の「辰」にひらがなの「の」をもって辰野を表し「の」を描く輪は平和伸展と大同団結を象徴しています。町のイメージキャラクターは辰野町の特別シンボル「げんじ蛍」を明るく健やかに伸びる辰野町の象徴としてデザインした“ぴっかりちゃん”（商標登録第 5073743 号 ）、シンボルマークは“日本の真ん中・辰野町”からさまざまな情報を発信していく姿をイメージしたものです（図 1-2）。

町章　　イメージキャラクターぴっかりちゃん　　シンボルマーク

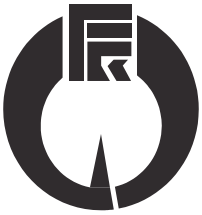


図 1-2　辰野町の象徴とシンボルマーク

（２）地理的魅力

○ 伊那谷がはじまる地（伊那谷の北端）

辰野町は、長野県南部、天竜川に沿って南北に伸びる伊那谷の北端に位置し、古くから東西南北に伸びる街道によって交通の要衝として発展してきました。辰野町は、「伊那谷がはじまる地」といえます。」

また、南下すると伊那市、東に向かうと隣接する岡谷市・諏訪市、国道 153 号を北上すると塩尻市に達するため、3 方に広がる生活・文化圏を有しています。

○ 日本のど真ん中

辰野町内の大城山山中には、北緯 36 度と東経 138 度が 0 分 00 秒で交わる「ゼロポイント」があります。ここは、「日本の地理的中心」といわれ、日本列島のほぼ中心にあたります。辰野町は日本のど真ん中にある町です（図 1-3）。

図 1-3　ど真ん中ロゴマーク

（３）地質・地形的魅力

横川川（よこかわがわ）の河床には灰褐色の岩脈が黒色の粘板岩の中を長々と走っています。この岩脈に直交する方向に、白色の石英脈が15～50cmの間隔で規則的に貫入しています。これが蛇腹の斑紋を連想させ、しかも水面に出没して横たわっており大蛇のように見える「蛇石（国天然記念物）」があります（写真1-2）。

写真1-2　雪解け水が流下する横川川の蛇石
撮影：2023年4月4日

蛇石から3.0km上流には、50メートルの高さを三段に折れ曲がり落下する壮大な「三級の滝」があり、横川川が作り出す地形的魅力となっています（写真1-3）。

写真1-3　三級の滝
辰野町観光協会
https://www.town.tatsuno.lg.jp/kanko/miru_asobu/yokokawakeikoku/2029.html

横川川や小横川川（こよこかわがわ）あたりでしか採取できない、地質を構成する粘板岩（黒雲母粘板岩）を由来とする長野県指定伝統工芸品（昭和62年2月10日指定）の“龍渓硯（りゅうけいすずり）”があります。書道家からも人気の高い高級硯として知られています（写真1-4）。

これらは、特徴的な地質・地形により、私たちに魅力を与えてくれます。

写真1-4　龍渓硯
長野県HP：
https://www.pref.nagano.lg.jp/mono/sangyo/shokogyo/seikatsu/kogehin.html

（４）自然環境的魅力

町域の87%を森林が占めています。天竜川、横川川、小野川や、井出の清水、徳本水、藤沢の水など、豊かな緑と連続する水辺からなる風景が魅力の町です（写真1-5）。

写真1-5　横川川と堤の桜
撮影：2023年4月4日

中心街の北側に位置する大城山は、町の景観の要の一つで、山頂から伊那谷を一望でき、天竜川や伊那谷の雄大な地形を眺められ、古くから地元の人達を始め、訪れた人達に親しまれているスポットです（写真 1-6）。

国天然記念物の「小野のシダレグリ自生地」は指定 100 周年を迎え、町の自然的魅力の場となっています（写真 1-7）。

写真 1-6　大城山からの望む伊那谷
撮影：2023 年 4 月 4 日

写真 1-7　早春の小野のシダレグリ自生地
撮影：2023 年 4 月 4 日

また、小野の矢彦神社社叢（しゃそう）（神社において社殿や寺社境内を囲う林）は、県の天然記念物であり、今でも平地林の姿を見ることができます。その他にも教育委員会によって 32 の樹木（保存樹木）が登録されています。

当町は、日本最大のゲンジボタルの発生地です。ホタルの生息には、きれいな水など生育に適した河川環境が必要で（写真 1-8）、町民の様々な取組によって里山環境が良好に保たれているため、ホタルが多く生息し、初夏になると町内を飛び交うホタルは“辰野町の原風景”となっています。

写真 1-8　早春のホタル童謡里公園　　撮影：2023 年 4 月 4 日

（5）歴史・文化的魅力

辰野町には、有史以前からの人々の暮らしの跡が確認されています。長野県宝の仮面土偶（写真 1-9）に代表されるように、縄文時代の遺跡が数多く分布し、古くから生活の痕跡を残しました。町教育委員会の遺跡地図によれば、町内の遺跡は 250 箇所となっています。

写真 1-9　仮面土偶「日本のへそ土偶　縄文の母　ほっこり」

写真 1-10　木造十一面観音立像
辰野町教育委員会

写真 1-11　日本最古と伝わる道祖神（沢底区）
撮影：2023 年 4 月 4 日

鎌倉時代になると、諏訪氏ゆかりの氏族がこの地を治め、国の重要文化財に指定されている木造十一面観音立像が建立されています（写真 1-10）。

辰野町内では、小式部城（こしきがじょう）をはじめ 16 の城館跡があります。また、永正 2 年（1505 年）の年号が刻まれた、最古の道祖神と言われる沢底区の道祖神があります（写真 1-11）。

江戸時代には各所に宿場が開かれ、小野宿にその面影を残しています（写真 1-12）。

町内各所の神社では、御柱祭が行われています（写真 1-13）。この祭りも木の文化を継承する伝統文化です。

写真 1-12　小野宿の県宝旧小野家住宅主屋
県宝指定 2004 年 11 月 22 日　撮影：2023 年 4 月 4 日

写真 1-13　矢彦神社の御柱（小野御柱休み場）
撮影：2023 年 4 月 4 日

（6）魅力を「森ビジョン」に活かす

これまで記載した魅力は、当町の魅力のごく一部です。これらの魅力的な場所を「ほたるの里辰野町イラストマップ」で紹介しています（図 1-4）。

このように当町は、古くからの歴史を刻む土地で、地域には各時代の先人ゆかりの史跡が残されています。

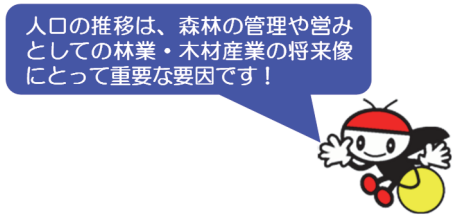
図 1-4　辰野町魅力マップ

辰野町の魅力は、様々な地理的、地質・地形的、自然的、歴史・文化などに見られる環境 ＝“風土”から生み出されたものです。森林に囲まれた環境にあるこの地で、森林地帯が独自の文化を生み出し、そしてこの地を往来する文化とも相互に響き合ってきたことが知れます。

【町の魅力と森ビジョン】

町の風土の大きな要因は身近にある森林であることは間違いありません。これらの魅力を**「森ビジョン」**に反映させていく必要があります。

1-2. 辰野町の人口



（1）現在の人口

2023 年（令和 5 年）4 月 1 日現在（長野県毎月人口異動調査）の町の総人口は 17,820 人、うち男性が 8,624 人、女性が 9,196 人、世帯数は 7,108 世帯となっています。また、総人口を世帯数で除した 1 世帯当たりの人口は、2.51 人／世帯となっています。

年代別の構成を 2023 年の町勢要覧でみると図 1-5 となり、男女とも 70 代が最も多く、高齢化の傾向を示しています。

2013 年（平成 25 年）4 月 1 日現在（長野県毎月人口異動調査）の総人口は 20,105 人、うち男性が 9,820 人、女性が 10,285 人、世帯数は 7,328 世帯で、10 年後の現在、総人口で 2,285 人の減、世帯数も 220 世帯減っています。人口減少とともに、1 世帯当たりの人口も 10 年前が 2.74 人であったのに対し、現在は 2.51 人と核家族化または単身世帯が増加する傾向となっています。

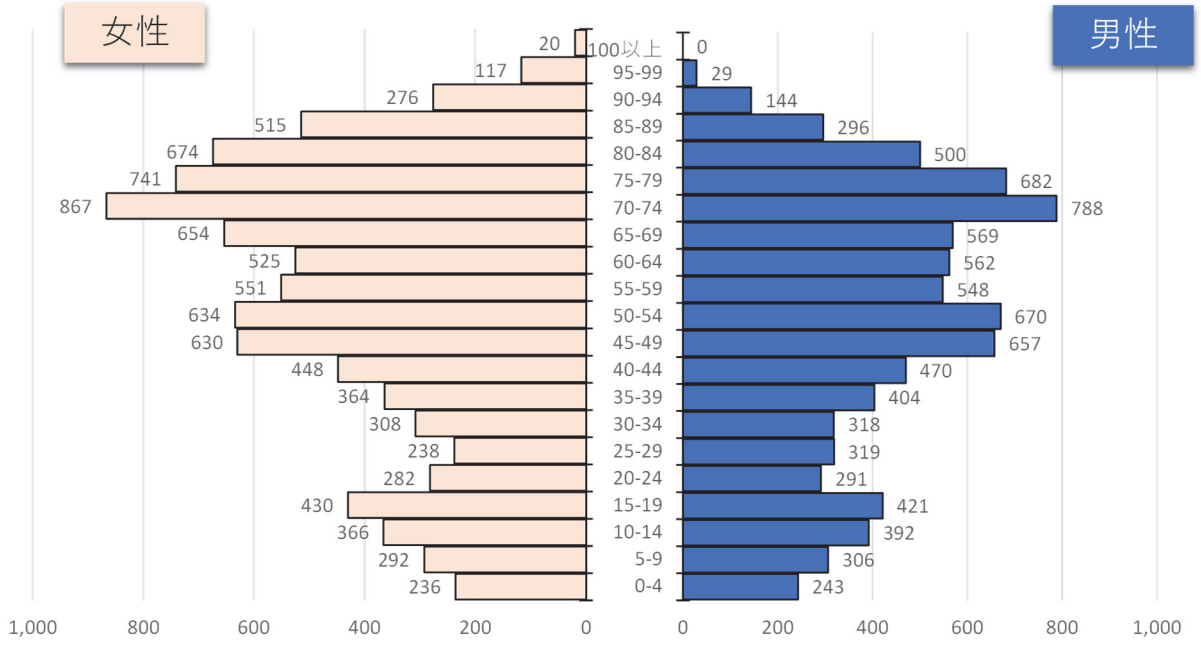


図 1-5　年齢階級別人口（2023 年 4 月 1 日現在）　2023 年（令和 5 年）長野県毎月人口異動調査
年齢不詳人口は含まず。

（2）今後の人口推移予測

2015 年（平成 27 年）10 月に策定した「辰野町人口ビジョン（初版）」では、人口減少が続くと予測されています。2020 年（令和 2 年）の人口は 18,877 人と「辰野町人口ビジョン（初版）」の予測値（18,682～18,877 人）や同ビジョン将来展望値（18,861 人）のとおりに減少しています（図 1-6）。

「辰野町人口ビジョン（初版）」では、「森ビジョン」の 50 年後の 2074 年の人口将来展望値は示されていませんが、中間年に近似する 2050 年には 13,267 人、2060 年には 11,786 人と予測されています。

人口を年少人口（0 歳～5 歳未満）、生産年齢人口（15 歳以上～65 歳未満）、老齢人口（65 歳以上）の 3 区分とすると、「辰野町人口ビジョン（初版）」将来展望値は、2050 年には年少人口 1,887 人、生産年齢人口 6,395 人、老年人口 4,985 人となり、総人口に占める割合は、年少人口や老年人口では大きな変動はない一方で、生産年齢人口は大きく減少し2050年には48%となる予測となっています(図1-7)。

「森ビジョン」の計画期間は、総人口の減少とともに、生産年齢人口の減少が著しい期間となっています。

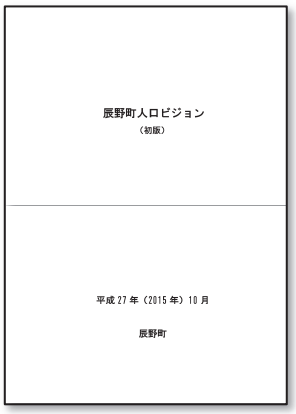
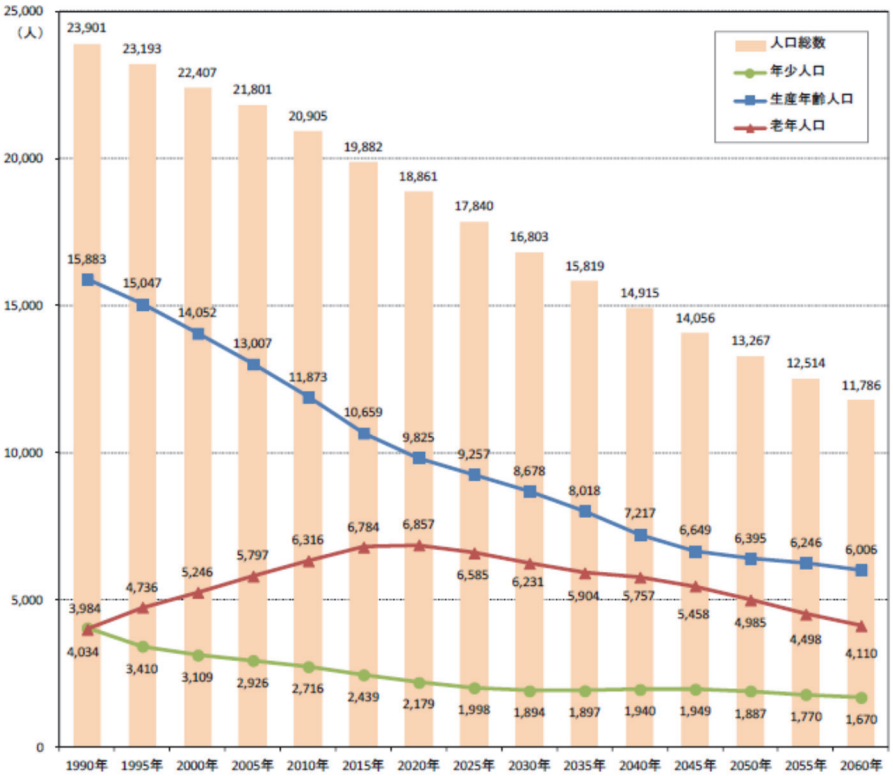


図 1-6　辰野町人口ビジョン



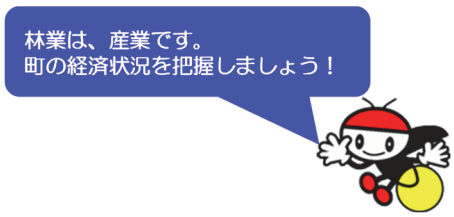
	H 2	H 7	H12	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47	H52	H57	H62	H67	H72
年少人口割合	16.9%	14.7%	13.9%	13.4%	13.0%	12.3%	11.6%	11.2%	11.3%	12.0%	13.0%	13.9%	14.2%	14.1%	14.2%
生産年齢人口割合	66.5%	64.9%	62.7%	59.7%	56.8%	53.6%	52.1%	51.9%	51.6%	50.7%	48.4%	47.3%	48.2%	49.9%	51.0%
老年人口割合	16.7%	20.4%	23.4%	26.6%	30.2%	34.1%	36.4%	36.9%	37.1%	37.3%	38.6%	38.8%	37.6%	35.9%	34.9%

図 1-7　辰野町人口ビジョンにおける人口推移予測（将来展望値）　辰野町人口ビジョン p46

【人口の推移と森ビジョン】

人口減少、特に生産年齢人口の減少は、森林の管理に大きな意味を持ちます。全ての森林を管理し続けるか、管理する森林と自然に委ねる森林の検討が必要な時代を迎えています。

1-3. 辰野町の経済



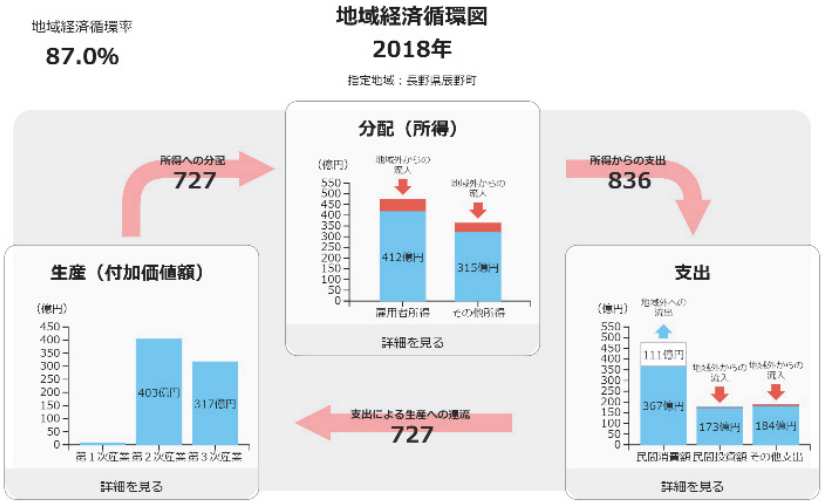
（1）経済状況

林業・木材産業は地域産業なので、町の産業構造の概要を把握する必要があります。そこで、内閣府地方創生推進室及び経済産業省の「RESAS - 地域経済分析システム」による地域経済についてみます。

①　地域経済循環率

「地域経済循環率」とは、生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値で、地域経済の自立度を示しています。値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高いことを示します。

町の地域経済循環率は 87.0%、長野県全体では 92.0%なので、県全体よりも他地域への依存率が高い傾向にあります（図 1-8）。



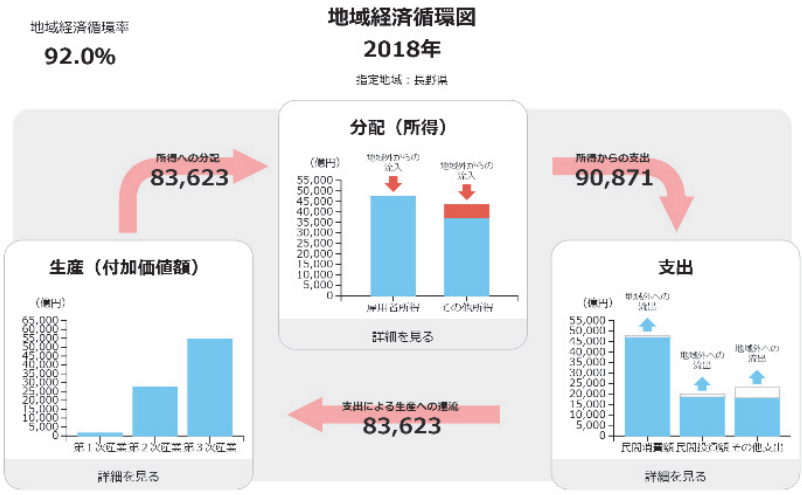


図 1-8　辰野町の地域経済循環図（上）と長野県全体（下）

※RESAS - 地域経済分析システムより

② 産業構成

生産額からみた町の１次産業は 0.9%、２次産業は 69.6%、３次産業は 29.5%となっています。２次産業の割合が高くなっています。大きい市や県などでは３次産業の生産額の割合が高くなる傾向があるため、町の構造とは異なります（図 1-9）。

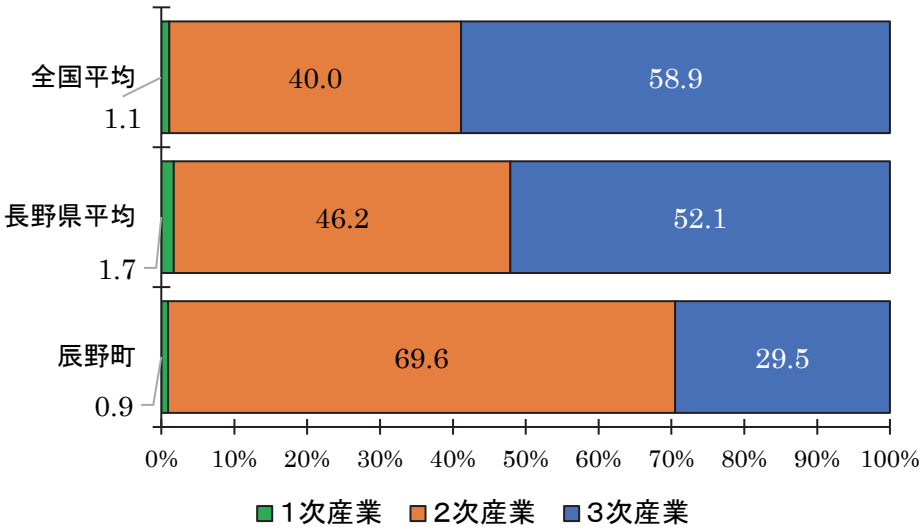


図1-9 地域内産業の構成割合（総生産額） 分析基準年2018年
※RESAS - 地域経済分析システムを基に作成

（２）林業の位置付け

① 影響力係数と感応度係数

「影響力係数」とは当該産業に対する新たな需要が、全産業（調達先）に与える影響の強さを示すもので、「感応度係数」とは全産業に対する新たな需要による当該産業が受ける影響の強さを示す指標です。それぞれ“1.0”を上回ったら影響が強いことを示しています。

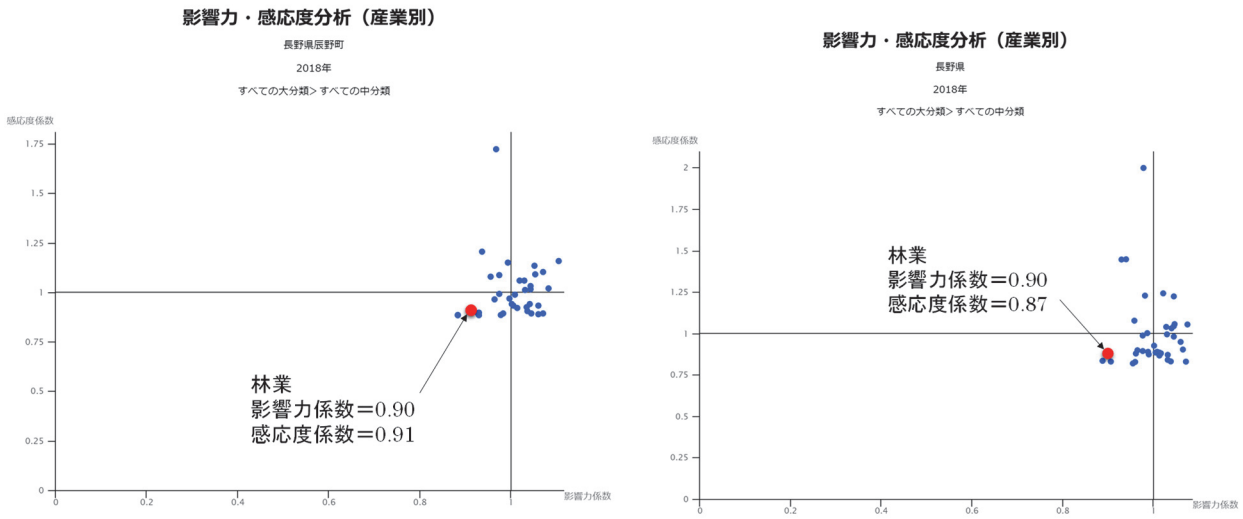


図 1-10 辰野町（左）、長野県全体（右）の林業の影響力係数及び感応度係数
※RESAS - 地域経済分析システムより

町の林業（産業分類の林業は、林業活動作業、木材生産等と特用林産物生産を含む）の影響力係数は 0.90、感応度係数は 0.91 で、長野県全体では影響力係数 0.90、感応度係数 0.87 となっています。全国的に見ても林業の位置付けは、影響力係数及び感応度係数ともに“1.0”を下回る傾向にあります（図 1-10）。

② 林業収入

2020 年の町の林業総収入は 22,900 万円で、林業作業請負額が 15,000 万円、林産物販売金額が 7,900 万円となっています。長野県全体では 883,175 万円で、町の林業総収入は長野県全体の 2.6%となっています（図 1-11）。

林産物販売金額の占める割合は、町では 35%。県全体では 33%と県全体の割合を上回っていて、これはマツタケ生産の影響と推察されます（写真 1-14）。

写真 1-14　マツタケは辰野町の特産

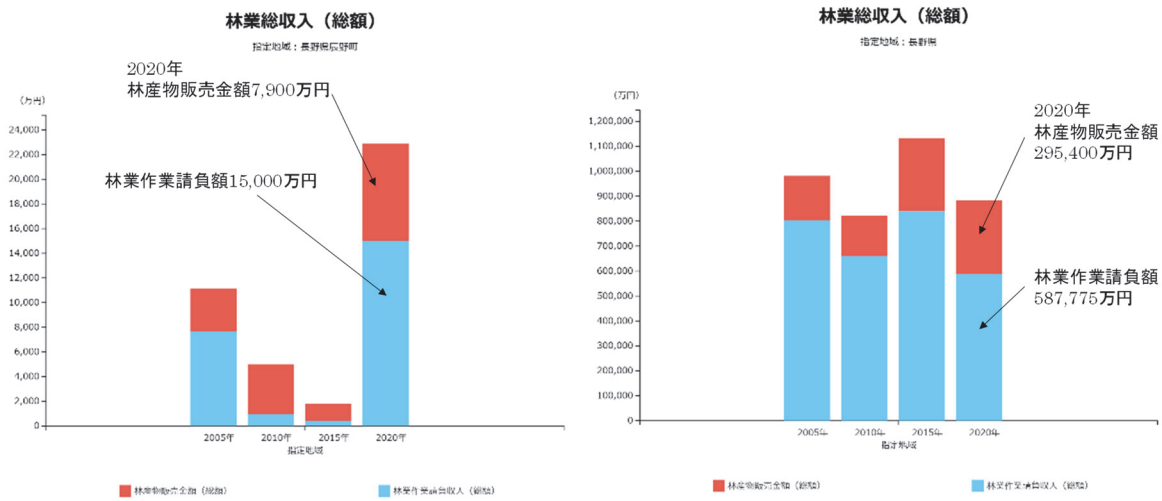


図1-11　辰野町の林業総収入額（左）と県全体（右）

※RESAS - 地域経済分析システムより

※「RESAS - 地域経済分析システム」においてデータ解説がないため変動の要因は不明

【産業構造と森ビジョン】

辰野町の産業構造は 2 次産業主体となっています。林業を含む 1 次産業は僅か 0.9%です。町の林業は、産業として強くありませんが、林業総収入に占める割合は林産物販売金額の占める割合が大きく、特産であるマツタケの影響が考えられます。マツタケ生産を辰野町の特徴と捉え、「森ビジョン」に反映させていく必要があります。

1-4. 辰野町の土地利用計画

町は広く、住宅地や農地等、そして森林となっているため、土地の利用について把握する必要があります

（1）土地利用基本計画

辰野町の「総合計画」では、「一人ひとりの活躍がつくり出す住み続けたいまち」にふさわしい土地利用を総合的かつ計画的に実施することにしています。

基本構想における土地利用の基本方針は、「有効利用に向けた土地利用」、「安心・安全と自然環境等の保全に配慮した土地利用」、「土地利用の総合的な運用管理」を柱とし、基本計画における土地利用は7つの方針が示され、基本方向は7つのゾーンとしています（図1-12）。

基本方針

(1)　長期的視野に立った土地利用
(2)　快適で魅力ある市街地の土地利用
(3)　持続可能な農山村集落地域の土地利用
(4)　町土の保全と安全性を確保した土地利用
(5)　美しい町土形成のための土地利用
(6)　公共サービスを維持するための土地利用
(7)　町土の総合的なマネジメント

凡例	
中心核	鉄道
産業核	自然環境ゾーン
緑の核	農業・集落環境ゾーン
歴史・文化核	地域賑わい活動ゾーン
骨格となる河川	主要集落地区

「核」とは、概ね同一の土地利用のまとまりで、比較的小規模なまとまりを示すエリア。「核」の中には中心となる主要な建物や公園等の施設を含む場合が多い。「拠点」と表現する場合もある。
「ゾーン」とは、概ね同一の土地利用のまとまりで、面的な広がりを持つエリア。町土の多くはこの「ゾーン」で構成される。

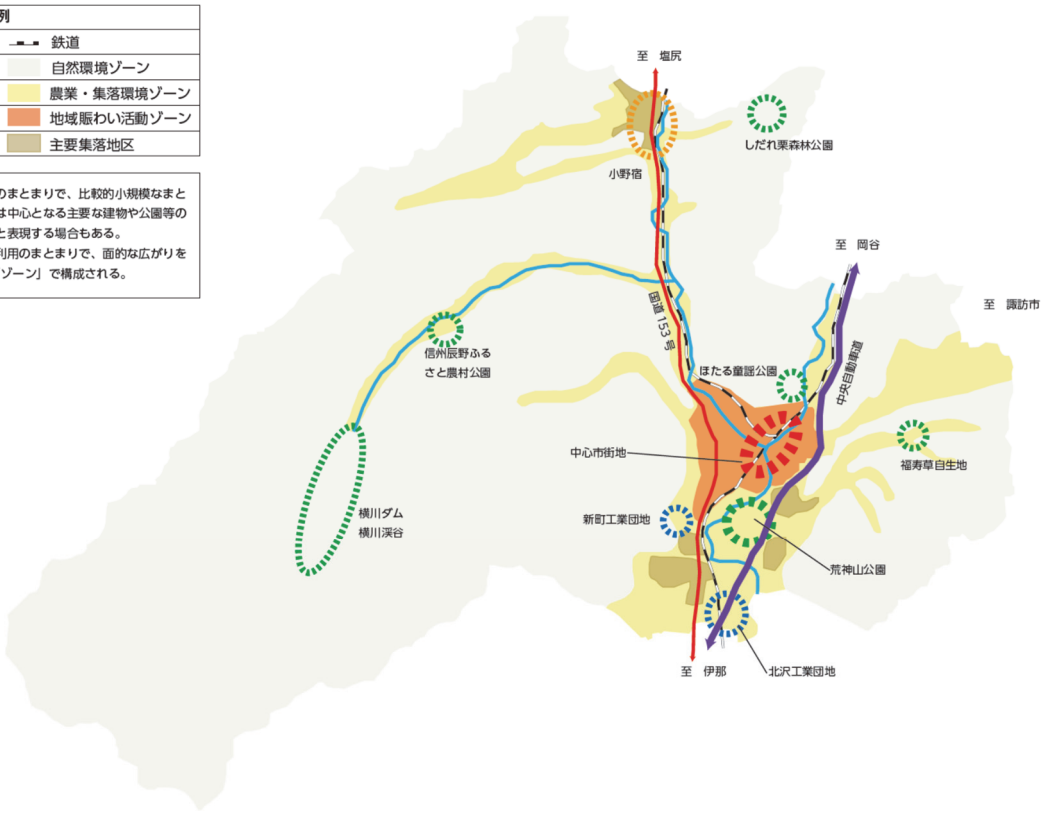


図 1-12　辰野町土地利用計画（辰野町第６次総合計画 前期基本計画）

（２）土地利用基本計画と「森ビジョン」

土地利用基本方針の3つの柱は次を推進します（表1-1）。

また、基本方向の7つのゾーン（前ページ、図1-12）のうち、森林と関わりが深いゾーンは、**“自然環境ゾーン”、“農業・集落環境ゾーン”、“緑の核”、“歴史・文化核”**です。

表1-1　土地利用基本方針の3つの柱と推進方向

基本方針	推進方向
有効利用に向けた土地利用	• 農村部及び山村部の土地利用については、農山村集落の維持、活性化を促進するため、優良農地の保全と開発との調整を図るとともに、農用地と宅地が混在する地域における計画的かつ適切な農地の利用 • 農用地、森林、宅地等利用区分相互の土地利用転換に当たっては、復元の困難性等を考慮し、計画的かつ慎重に行う
安心•安全と自然環境等の保全に配慮した土地利用	• 辰野町は平坦地が少なく、天竜川をはじめ多くの河川を有しており、災害への十分な備えが必要。災害に強い安全なまちづくりのため、治山、治水、砂防事業の推進等の防災に加え、減災の視点に立った適正な土地利用を基本として災害対策を進めるとともに、市街地においては、交通安全や公害防止等に配慮した土地利用の誘導や都市基盤整備により、安心、安全に生活できる環境づくり • 美しい町域を形成するため、自然環境の保全、歴史的風土の保存、公害防止等に配慮し、都市地域においては土地の高度利用等により、ゆとりある環境を確保し、農山村地域においては地域の活性化を図りつつ緑資源の確保及びその積極的活用を進める等、地域の自然的及び社会的条件に適応した町域の形成
土地利用の総合的な運用管理	• 限られた町域であるので、土地利用をめぐる様々な関係性や多様な主体のかかわり、その影響の広域性を踏まえ、地域間の適切な調整や町域利用の基本的な考え方についての合意形成 • 町域の均衡ある発展と良好な環境維持確保に努めるため、適正な土地利用の規制、誘導を行い、防災や景観、居住環境と生産環境の調和等に配慮しながら、住宅地、工業地等の都市的土地利用と農用地、森林等の自然的土地利用の均衡のとれた秩序ある土地利用を推進

※辰野町第6次総合計画 基本構想　p18～19

【土地利用基本計画との整合】

「森ビジョン」は土地利用基本計画との整合を図る必要があります。防災・減災、景観、居住環境など、森林があることによる調和が重要です。特に森林と関わりが深いゾーンにおいては、森林の有する機能を最大限発揮する将来像が求められます。